

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 三重県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合医療センター	2
-	こころの医療センター	3
-	一志病院	4
-	志摩病院	5
四日市市	市立四日市病院	6
伊勢市	市立伊勢総合病院	7
松阪市	松阪市民病院	8
名張市	名張市立病院	9
尾鷲市	尾鷲総合病院	10
亀山市	市立医療センター	11
志摩市	国民健康保険 志摩市民病院	12
伊賀市	伊賀市立上野総合市民病院	13
大台町	報徳病院	14
玉城町	国保玉城病院	15
南伊勢町	町立南伊勢病院	16
紀南病院組合	紀南病院	17

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名			
病院名		総合医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	764,500,853	
標準財政規模(千円)	450,753,939	
財政力指数	0.55804	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	164.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,676			
1 経常収益	27,676			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	27,676			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,676			
2 経常費用	27,676			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	-	-	8.5	7.9
経費	-	-	21.5	18.1
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	27,676			
(うち支払利息)	27,676	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.5
医業収支比率	-		86.0	90.0
修正医業収支比率	-		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	88.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	153.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名					
病院名					
このころの医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,768 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	318	64.1	53.8	54.6
感染症	-	-	-	-
計	318	64.1	53.8	54.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,770,254
決算規模(千円)		764,500,853
標準財政規模(千円)		450,753,939
財政力指数		0.55804
経常収支比率(%)		93.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	164.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,744,212			
1 経常収益	3,193,860			
(1) 医業収益	1,968,703			
(うち修正医業収益)	1,772,147			
入院収益	1,454,107			
外来収益	292,938			
診療収入計	1,747,045			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	221,658			
(うち他会計負担金)	196,556			
(2) 医業外収益	1,225,157			
(うち国・都道府県補助金)	207,214			
(うち他会計補助・負担金)	866,521			
(うち長期前受金戻入)	126,984			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,550,352			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,288,613			
2 経常費用	3,288,613			
(1) 医業費用	3,161,719			
職員給与費	2,104,066	106.9	58.7	104.5
材料費	190,482	9.7	26.9	9.7
(うち薬品費)	91,221	4.6	14.8	6.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,845	1.6	11.7	1.6
減価償却費	209,370	10.6	8.5	12.8
経費	644,724	32.7	21.5	34.3
(うち委託料)	389,710	19.8	11.5	15.4
研究研修費	10,977			
資産減耗費	2,100			
(2) 医業外費用	126,894			
(うち支払利息)	32,828	1.7	0.9	2.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-94,753			
純損益	1,455,599			
累積欠損金	75,613			
経常収支比率	97.1		96.5	98.6
医業収支比率	62.3		86.0	61.2
修正医業収支比率	56.1		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	33.3		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	54.0		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	22.4		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	64.8		85.4	64.6

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,005,167
1 固定資産	7,694,271
(1) 有形固定資産	7,402,805
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	289,167
2 流動資産	2,310,896
(1) 現金及び預金	1,841,131
(2) 未収金及び未収収益	492,186
(3) 貸倒引当金()	35,858
(4) 貯蔵品	10,053
3 繰延資産	-
負債合計	12,721,788
1 固定負債	10,459,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,793,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(4) その他の長期借入金	3,499,174
(5) 引当金	1,085,355
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,265,114
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	737,146
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	182,320
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	334,806
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	996,811
(1) 長期前受金	7,983,901
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,987,090
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,716,621
1 資本金	311,410
2 剰余金	-3,028,031
(1) 資本剰余金	1,371,559
(2) 利益剰余金	-4,399,590
負債・資本合計	10,005,167
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,716,621
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,719,810
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	996,128	1,063,077
資本勘定繰入	248,971	248,971
計	1,245,099	1,312,048

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	153.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名					
病院名 一志病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,295 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	46	72.7	71.8	75.5
療養	36	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	82	72.7	40.3	40.5
平均在院日数(一般病床のみ)		23.9	25.8	23.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	764,500,853	
標準財政規模(千円)	450,753,939	
財政力指数	0.55804	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	164.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,204,592			
1 経常収益	1,117,310			
(1) 医業収益	739,917			
(うち修正医業収益)	639,820			
入院収益	387,168			
外来収益	138,875			
診療収入計	526,043			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	213,874			
(うち他会計負担金)	100,097			
(2) 医業外収益	377,393			
(うち国・都道府県補助金)	38,599			
(うち他会計補助・負担金)	283,989			
(うち長期前受金戻入)	41,376			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	87,282			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,032,646			
2 経常費用	1,032,646			
(1) 医業費用	1,002,409			
職員給与費	603,190	81.5	58.7	78.7
材料費	61,095	8.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	18,233	2.5	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,703	4.4	11.7	6.1
減価償却費	89,942	12.2	8.5	11.8
経費	246,463	33.3	21.5	32.3
(うち委託料)	108,851	14.7	11.5	15.3
研究研修費	960			
資産減耗費	759			
(2) 医業外費用	30,237			
(うち支払利息)	1,024	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	84,664			
純損益	171,946			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.2		96.5	96.4
医業収支比率	73.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	63.8		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.4		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	51.9		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	31.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	71.0		85.4	73.0

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	10,005,167
1 固定資産	7,694,271
(1) 有形固定資産	7,402,805
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	289,167
2 流動資産	2,310,896
(1) 現金及び預金	1,841,131
(2) 未収金及び未収収益	492,186
(3) 貸倒引当金()	35,858
(4) 貯蔵品	10,053
3 繰延資産	-
負債合計	12,721,788
1 固定負債	10,459,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,793,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(4) その他の長期借入金	3,499,174
(5) 引当金	1,085,355
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,265,114
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	737,146
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	182,320
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	334,806
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	996,811
(1) 長期前受金	7,983,901
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,987,090
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,716,621
1 資本金	311,410
2 剰余金	-3,028,031
(1) 資本剰余金	1,371,559
(2) 利益剰余金	-4,399,590
負債・資本合計	10,005,167
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,716,621
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,719,810
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	364,189	384,086
資本勘定繰入	22,016	22,016
計	386,205	406,102

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	153.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名					
病院名 志摩病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,325 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	236	45.3	41.4	43.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	62.4	68.4	66.3
感染症	-	-	-	-
計	336	50.4	49.5	50.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	14.0	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,770,254	
決算規模(千円)	764,500,853	
標準財政規模(千円)	450,753,939	
財政力指数	0.55804	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	164.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,254,488			
1 経常収益	954,498			
(1) 医業収益	164,527			
(うち修正医業収益)	6,301			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	164,527			
(うち他会計負担金)	158,226			
(2) 医業外収益	789,971			
(うち国・都道府県補助金)	6,552			
(うち他会計補助・負担金)	482,512			
(うち長期前受金戻入)	145,366			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,299,990			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	992,529			
2 経常費用	992,529			
(1) 医業費用	931,571			
職員給与費	-	-	58.7	59.2
材料費	-	-	26.9	26.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1
減価償却費	292,678	177.9	8.5	8.5
経費	633,283	384.9	21.5	21.3
(うち委託料)	6,368	3.9	11.5	11.7
研究研修費	-			
資産減耗費	5,610			
(2) 医業外費用	60,958			
(うち支払利息)	41,228	25.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-38,031			
純損益	1,261,959			
累積欠損金	4,474,361			
経常収支比率	96.2		96.5	95.9
医業収支比率	17.7		86.0	86.4
修正医業収支比率	0.7		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	67.1		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	389.4		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	28.4		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	31.6		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,005,167
1 固定資産	7,694,271
(1) 有形固定資産	7,402,805
(2) 無形固定資産	2,299
(3) 投資その他の資産	289,167
2 流動資産	2,310,896
(1) 現金及び預金	1,841,131
(2) 未収金及び未収収益	492,186
(3) 貸倒引当金()	35,858
(4) 貯蔵品	10,053
3 繰延資産	-
負債合計	12,721,788
1 固定負債	10,459,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,793,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(4) その他の長期借入金	3,499,174
(5) 引当金	1,085,355
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,265,114
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	737,146
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	182,320
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	334,806
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	996,811
(1) 長期前受金	7,983,901
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,987,090
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,716,621
1 本金	311,410
2 剰余金	-3,028,031
(1) 資本剰余金	1,371,559
(2) 利益剰余金	-4,399,590
負債・資本合計	10,005,167
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	2,716,621
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,719,810
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	544,571	640,738
資本勘定繰入	132,591	132,591
計	677,162	773,329

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	153.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	四日市市				
病院名	市立四日市病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,548 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	535	73.8	71.7	68.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	45.5	4.0	10.8
計	537	73.6	71.5	67.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.1	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	305,424	
決算規模(千円)	133,907,862	
標準財政規模(千円)	81,728,881	
財政力指数	1.14	
経常収支比率(%)	80.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,524,229			
1 経常収益	24,382,956			
(1) 医業収益	22,833,767			
(うち修正医業収益)	22,684,237			
入院収益	14,836,658			
外来収益	7,509,266			
診療収入計	22,345,924			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	487,843			
(うち他会計負担金)	149,530			
(2) 医業外収益	1,549,189			
(うち国・都道府県補助金)	302,814			
(うち他会計補助・負担金)	613,700			
(うち長期前受金戻入)	542,623			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	141,273			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	25,660,062			
2 経常費用	25,640,774			
(1) 医業費用	24,306,648			
職員給与費	10,856,996	47.5	58.7	51.4
材料費	8,200,430	35.9	26.9	32.6
(うち薬品費)	4,104,165	18.0	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,095,006	17.9	11.7	13.9
減価償却費	1,678,308	7.4	8.5	7.4
経費	3,445,787	15.1	21.5	16.9
(うち委託料)	2,277,966	10.0	11.5	10.0
研究研修費	69,708			
資産減耗費	55,419			
(2) 医業外費用	1,334,126			
(うち支払利息)	108,252	0.5	0.9	0.8
(3) 特別損失	19,288			
経常損益	-1,257,818			
純損益	-1,135,833			
累積欠損金	4,089,844			
経常収支比率	95.1		96.5	97.6
医業収支比率	93.9		86.0	91.7
修正医業収支比率	93.3		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	3.1		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	3.3		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	3.1		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	92.1		85.4	90.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	29,898,877
1 固定資産	16,850,309
(1) 有形固定資産	15,570,037
(2) 無形固定資産	3,443
(3) 投資その他の資産	1,276,829
2 流動資産	13,048,568
(1) 現金及び預金	8,867,717
(2) 未収金及び未収収益	3,886,367
(3) 貸倒引当金()	11,783
(4) 貯蔵品	306,267
3 繰延資産	-
負債合計	17,670,767
1 固定負債	13,451,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,890,537
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,507,593
(6) リース債務	53,181
2 流動負債	4,086,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,321,063
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	659,107
(6) リース債務	28,531
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,990,486
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	132,955
(1) 長期前受金	2,460,523
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,327,568
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	12,228,110
1 資本金	16,317,954
2 剰余金	-4,089,844
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,089,844
負債・資本合計	29,898,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,163,006	763,230
資本勘定繰入	680,647	680,647
計	1,843,653	1,443,877

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名	伊勢市		
病院名	市立伊勢総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	25,379 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	260	76.4	73.7	71.1
療養	40	81.2	83.9	85.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	77.0	75.1	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.5	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	122,765	
決算規模(千円)	54,483,485	
標準財政規模(千円)	31,213,487	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,695,249			
1 経常収益	8,687,519			
(1) 医業収益	7,112,323			
(うち修正医業収益)	7,055,665			
入院収益	4,688,478			
外来収益	1,846,755			
診療収入計	6,535,233			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	577,090			
(うち他会計負担金)	56,658			
(2) 医業外収益	1,575,196			
(うち国・都道府県補助金)	213,927			
(うち他会計補助・負担金)	868,119			
(うち長期前受金戻入)	452,673			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,730			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,876,915			
2 経常費用	8,876,915			
(1) 医業費用	8,474,926			
職員給与費	4,469,367	62.8	58.7	59.2
材料費	1,541,192	21.7	26.9	26.1
(うち薬品費)	685,917	9.6	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	844,507	11.9	11.7	11.1
減価償却費	1,003,621	14.1	8.5	8.5
経費	1,424,288	20.0	21.5	21.3
(うち委託料)	1,091,174	15.3	11.5	11.7
研究研修費	35,691			
資産減耗費	767			
(2) 医業外費用	401,989			
(うち支払利息)	60,434	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-189,396			
純損益	-181,666			
累積欠損金	1,716,906			
経常収支比率	97.9		96.5	95.9
医業収支比率	83.9		86.0	86.4
修正医業収支比率	83.3		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	10.6		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	87.4		85.4	86.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	18,204,890
1 固定資産	15,493,840
(1) 有形固定資産	14,993,104
(2) 無形固定資産	3,563
(3) 投資その他の資産	497,173
2 流動資産	2,711,050
(1) 現金及び預金	1,532,729
(2) 未収金及び未収収益	1,188,498
(3) 貸倒引当金()	96,107
(4) 貯蔵品	85,930
3 繰延資産	-
負債合計	14,631,579
1 固定負債	11,860,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,003,340
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,856,888
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,305,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	460,764
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	257,470
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	583,886
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,466,261
(1) 長期前受金	4,229,232
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,762,971
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,573,311
1 本金	4,254,000
2 剰余金	-680,689
(1) 資本剰余金	1,036,217
(2) 利益剰余金	-1,716,906
負債・資本合計	18,204,890
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	538,514	924,777
資本勘定繰入	474,224	474,224
計	1,012,738	1,399,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	松阪市				
病院名	松阪市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,379 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救 臨 感 へ 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一 般	326	69.0	71.1	71.8
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	2	21.9	61.1	56.4
計	328	68.7	71.1	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.8	14.3

設立団体の状況		
人 口(人)	159,145	
決 算 規 模(千円)	73,090,793	
標 準 財 政 規 模(千円)	41,702,827	
財 政 力 指 数	0.59	
経 常 収 支 比 率(%)	88.7	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	11,305,908			
1 経 常 収 益	11,304,993			
(1) 医 業 収 益	9,357,128			
(うち修正医業収益)	9,289,777			
入 院 収 益	5,094,607			
外 来 収 益	4,069,967			
診 療 収 入 計	9,164,574			
繰 延 運 営 権 対 価 収 益	-			
運 営 権 者 更 新 投 資 収 益	-			
そ の 他 医 業 収 益	192,554			
(うち他会計負担金)	67,351			
(2) 医 業 外 収 益	1,947,865			
(うち国・都道府県補助金)	726,745			
(うち他会計補助・負担金)	569,946			
(うち長期前受金戻入)	488,094			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	915			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	11,175,440			
2 経 常 費 用	11,167,293			
(1) 医 業 費 用	10,219,030			
職 員 給 与 費	4,370,812	46.7	58.7	59.2
材 料 費	3,669,177	39.2	26.9	26.1
(うち薬品費)	2,826,611	30.2	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	753,190	8.0	11.7	11.1
減 価 償 却 費	710,497	7.6	8.5	8.5
経 費	1,392,613	14.9	21.5	21.3
(うち委託料)	862,927	9.2	11.5	11.7
研 究 研 修 費	54,695			
資 産 減 耗 費	21,236			
(2) 医 業 外 費 用	948,263			
(うち支払利息)	33,392	0.4	0.9	1.0
(3) 特 別 損 失	8,147			
損 益	137,700			
純 損 益	130,468			
累 積 欠 損 金	429,978			
経 常 収 支 比 率	101.2		96.5	95.9
医 業 収 支 比 率	91.6		86.0	86.4
修 正 医 業 収 支 比 率	90.9		83.2	83.7
他 会 計 繰 入 金 対 経 常 収 益 比 率	5.6		11.5	9.8
他 会 計 繰 入 金 対 医 業 収 益 比 率	6.8		13.7	11.5
他 会 計 繰 入 金 対 総 収 益 比 率	5.6		11.5	9.8
実 質 収 益 対 経 常 費 用 比 率	95.5		85.4	86.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	14,684,181
1 固 定 資 産	7,212,637
(1) 有 形 固 定 資 産	6,998,467
(2) 無 形 固 定 資 産	73,040
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	141,130
2 流 動 資 産	7,471,544
(1) 現 金 及 び 預 金	5,414,109
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,805,878
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	2,734
(4) 貯 蔵 品	252,271
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	9,157,501
1 固 定 負 債	3,327,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,591,642
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	1,735,617
(6) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	1,605,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	675,604
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	246,768
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	621,756
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	4,224,627
(1) 長 期 前 受 金	9,313,100
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	5,088,473
(3) 繰 延 運 営 権 対 価	-
(4) 繰 延 運 営 権 対 価 収 益 化 累 計 額 ()	-
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資	-
(6) 運 営 権 者 更 新 投 資 収 益 化 累 計 額 ()	-
資 本 合 計	5,526,680
1 資 本 金	5,937,816
2 剰 余 金	-411,136
(1) 資 本 剰 余 金	18,842
(2) 利 益 剰 余 金	-429,978
負 債 ・ 資 本 合 計	14,684,181
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資 本 不 足 額 (繰延収益控除後) ()	-
備 考	

他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	387,696	637,297
資 本 勘 定 繰 入	383,714	383,714
計	771,410	1,021,011

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資 金 不 足 等 の 状 況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	4.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		名張市			
病院名		名張市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透1未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,102 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	200	71.2	69.9	66.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	71.2	69.9	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	14.1	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	76,387	
決算規模(千円)	31,810,027	
標準財政規模(千円)	17,221,232	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.5
	将来負担比率(%)	130.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,082,181			
1 経常収益	5,069,041			
(1) 医業収益	4,415,802			
(うち修正医業収益)	4,134,831			
入院収益	3,064,515			
外来収益	1,000,923			
診療収入計	4,065,438			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	350,364			
(うち他会計負担金)	280,971			
(2) 医業外収益	653,239			
(うち国・都道府県補助金)	118,324			
(うち他会計補助・負担金)	423,653			
(うち長期前受金戻入)	63,373			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,140			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,343,246			
2 経常費用	5,322,507			
(1) 医業費用	4,959,895			
職員給与費	2,803,629	63.5	58.7	63.9
材料費	938,742	21.3	26.9	21.1
(うち薬品費)	257,720	5.8	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	681,022	15.4	11.7	10.2
減価償却費	308,532	7.0	8.5	9.3
経費	887,087	20.1	21.5	28.2
(うち委託料)	568,442	12.9	11.5	14.0
研究研修費	9,682			
資産減耗費	12,223			
(2) 医業外費用	362,612			
(うち支払利息)	50,638	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	20,739			
損益	-253,466			
純損益	-261,065			
累積欠損金	8,503,829			
経常収支比率	95.2		96.5	93.2
医業収支比率	89.0		86.0	81.2
修正医業収支比率	83.4		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	13.9		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	82.0		85.4	80.9

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,154,004
1 固定資産	4,589,203
(1) 有形固定資産	4,586,423
(2) 無形固定資産	2,780
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,564,801
(1) 現金及び預金	725,142
(2) 未収金及び未収収益	696,248
(3) 貸倒引当金()	8,336
(4) 貯蔵品	62,206
3 繰延資産	-
負債合計	3,511,645
1 固定負債	1,912,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	950,922
(2) その他の企業債	78,018
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	883,808
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,234,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	702,657
(2) その他の企業債	7,008
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	160,137
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	353,766
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	364,466
(1) 長期前受金	1,607,800
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,243,334
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,642,359
1 資本金	10,155,058
2 剰余金	-7,512,699
(1) 資本剰余金	991,130
(2) 利益剰余金	-8,503,829
負債・資本合計	6,154,004
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	758,998	704,624
資本勘定繰入	518,429	518,429
計	1,277,427	1,223,053

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	192.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		尾鷲市			
病院名		尾鷲総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,802 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	46.2	38.3	47.8
療養	56	60.7	49.0	61.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	255	49.4	40.7	50.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.3	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	16,252	
決算規模(千円)	11,403,273	
標準財政規模(千円)	6,234,989	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	1.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,893,930			
1 経常収益	3,893,757			
(1) 医業収益	3,228,067			
(うち修正医業収益)	3,210,227			
入院収益	1,851,464			
外来収益	1,231,722			
診療収入計	3,083,186			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	144,881			
(うち他会計負担金)	17,840			
(2) 医業外収益	665,690			
(うち国・都道府県補助金)	117,367			
(うち他会計補助・負担金)	224,613			
(うち長期前受金戻入)	304,429			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	173			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,297,596			
2 経常費用	4,297,508			
(1) 医業費用	4,125,538			
職員給与費	2,367,589	73.3	58.7	63.9
材料費	664,075	20.6	26.9	21.1
(うち薬品費)	298,653	9.3	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	361,611	11.2	11.7	10.2
減価償却費	327,501	10.1	8.5	9.3
経費	752,787	23.3	21.5	28.2
(うち委託料)	359,375	11.1	11.5	14.0
研究研修費	7,534			
資産減耗費	6,052			
(2) 医業外費用	171,970			
(うち支払利息)	25,756	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	88			
経常損	-403,751			
純損	-403,666			
累積欠損金	1,103,763			
経常収支比率	90.6		96.5	93.2
医業収支比率	78.2		86.0	81.2
修正医業収支比率	77.8		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	6.2		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	85.0		85.4	80.9

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,103,564
1 固定資産	3,045,309
(1) 有形固定資産	3,035,827
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	6,203
2 流動資産	2,058,255
(1) 現金及び預金	1,497,726
(2) 未収金及び未収収益	523,436
(3) 貸倒引当金()	5,285
(4) 貯蔵品	42,378
3 繰延資産	-
負債合計	3,144,110
1 固定負債	2,022,891
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,246,301
(2) その他の企業債	25,191
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	751,399
(6) リース債務	-
2 流動負債	935,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	551,326
(2) その他の企業債	5,632
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,791
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	229,740
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	185,788
(1) 長期前受金	4,038,615
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,852,827
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,959,454
1 資本金	200,856
2 剰余金	1,758,598
(1) 資本剰余金	2,862,361
(2) 利益剰余金	-1,103,763
負債・資本合計	5,103,564
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	242,519	242,453
資本勘定繰入	303,757	303,607
計	546,276	546,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		亀山市			
病院名		市立医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,980 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	90	60.0	51.2	59.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	60.0	51.2	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	13.4	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	49,835	
決算規模(千円)	21,700,701	
標準財政規模(千円)	13,602,071	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,694,580			
1 経常収益	1,694,551			
(1) 医業収益	1,463,584			
(うち修正医業収益)	1,366,219			
入院収益	840,531			
外来収益	452,165			
診療収入計	1,292,696			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	170,888			
(うち他会計負担金)	97,365			
(2) 医業外収益	230,967			
(うち国・都道府県補助金)	101,666			
(うち他会計補助・負担金)	119,868			
(うち長期前受金戻入)	3,126			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,694,580			
2 経常費用	1,689,264			
(1) 医業費用	1,625,787			
職員給与費	921,503	63.0	58.7	78.7
材料費	196,911	13.5	26.9	14.5
(うち薬品費)	68,479	4.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	126,439	8.6	11.7	6.1
減価償却費	130,029	8.9	8.5	11.8
経費	376,072	25.7	21.5	32.3
(うち委託料)	239,799	16.4	11.5	15.3
研究研修費	869			
資産減耗費	403			
(2) 医業外費用	63,477			
(うち支払利息)	600	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	5,316			
損益	5,287			
純損益	-			
累積欠損金	1,143,097			
経常収支比率	100.3		96.5	96.4
医業収支比率	90.0		86.0	72.4
修正医業収支比率	84.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.8		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	12.8		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	87.5		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,468,566
1 固定資産	2,331,496
(1) 有形固定資産	2,262,293
(2) 無形固定資産	940
(3) 投資その他の資産	68,263
2 流動資産	1,137,070
(1) 現金及び預金	896,688
(2) 未収金及び未収収益	233,707
(3) 貸倒引当金()	2,200
(4) 貯蔵品	6,675
3 繰延資産	-
負債合計	862,456
1 固定負債	539,197
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	510,502
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,695
(6) リース債務	-
2 流動負債	312,746
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,657
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,218
(6) リース債務	97
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	143,215
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,513
(1) 長期前受金	33,413
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,900
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,606,110
1 資本金	3,731,429
2 剰余金	-1,125,319
(1) 資本剰余金	17,778
(2) 利益剰余金	-1,143,097
負債・資本合計	3,468,566
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	227,218	217,233
資本勘定繰入	25,328	25,328
計	252,546	242,561

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	78.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		志摩市			
病院名		国民健康保険 志摩市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,358 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	17	-	-	-
療養	60	93.3	85.6	95.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	72.7	66.7	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	46,057	
決算規模(千円)	27,953,653	
標準財政規模(千円)	15,464,700	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	15.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,369,087			
1 経常収益	1,369,087			
(1) 医業収益	974,362			
(うち修正医業収益)	911,611			
入院収益	564,999			
外来収益	325,216			
診療収入計	890,215			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	84,147			
(うち他会計負担金)	62,751			
(2) 医業外収益	394,725			
(うち国・都道府県補助金)	9,537			
(うち他会計補助・負担金)	296,510			
(うち長期前受金戻入)	79,372			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,382,167			
2 経常費用	1,376,649			
(1) 医業費用	1,317,140			
職員給与費	829,604	85.1	58.7	78.7
材料費	110,351	11.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	26,295	2.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,056	8.6	11.7	6.1
減価償却費	100,407	10.3	8.5	11.8
経費	274,739	28.2	21.5	32.3
(うち委託料)	161,169	16.5	11.5	15.3
研究研修費	1,996			
資産減耗費	43			
(2) 医業外費用	59,509			
(うち支払利息)	12,295	1.3	0.9	1.1
(3) 特別損失	5,518			
経常損益	-7,562			
純損益	-13,080			
累積欠損金	697,491			
経常収支比率	99.5		96.5	96.4
医業収支比率	74.0		86.0	72.4
修正医業収支比率	69.2		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.2		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	36.9		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	26.2		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	73.4		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,508,592
1 固定資産	1,298,039
(1) 有形固定資産	1,296,217
(2) 無形固定資産	1,822
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	210,553
(1) 現金及び預金	63,664
(2) 未収金及び未収収益	156,057
(3) 貸倒引当金()	12,423
(4) 貯蔵品	3,255
3 繰延資産	-
負債合計	1,615,078
1 固定負債	522,415
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	509,278
(2) その他の企業債	13,137
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	202,105
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	92,449
(2) その他の企業債	2,597
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,539
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,154
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	890,558
(1) 長期前受金	1,846,263
(2) 長期前受金収益化累計額()	955,705
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-106,486
1 本金	350,796
2 剰余金	-457,282
(1) 資本剰余金	240,209
(2) 利益剰余金	-697,491
負債・資本合計	1,508,592
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	106,486
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,926	359,261
資本勘定繰入	55,117	57,867
計	399,043	417,128

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	伊賀市				
病院名	伊賀市立上野総合市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,528 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	241	60.6	57.4	55.7
療養	40	83.8	79.2	90.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	63.9	60.5	60.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.6	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	88,766	
決算規模(千円)	48,291,781	
標準財政規模(千円)	27,966,679	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	56.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,951,943			
1 経常収益	4,870,225			
(1) 医業収益	4,417,306			
(うち修正医業収益)	4,217,760			
入院収益	3,042,557			
外来収益	931,085			
診療収入計	3,973,642			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	443,664			
(うち他会計負担金)	199,546			
(2) 医業外収益	452,919			
(うち国・都道府県補助金)	142,830			
(うち他会計補助・負担金)	127,657			
(うち長期前受金戻入)	132,232			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	81,718			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,992,078			
2 経常費用	4,977,954			
(1) 医業費用	4,715,296			
職員給与費	2,618,458	59.3	58.7	63.9
材料費	775,550	17.6	26.9	21.1
(うち薬品費)	281,942	6.4	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	491,286	11.1	11.7	10.2
減価償却費	256,334	5.8	8.5	9.3
経費	1,050,660	23.8	21.5	28.2
(うち委託料)	506,528	11.5	11.5	14.0
研究研修費	6,785			
資産減耗費	7,509			
(2) 医業外費用	262,658			
(うち支払利息)	12,776	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	14,124			
経常損益	-107,729			
純損益	-40,135			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.8		96.5	93.2
医業収支比率	93.7		86.0	81.2
修正医業収支比率	89.4		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	6.6		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	91.3		85.4	80.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,843,419
1 固定資産	2,474,978
(1) 有形固定資産	2,472,772
(2) 無形固定資産	1,656
(3) 投資その他の資産	550
2 流動資産	2,368,441
(1) 現金及び預金	1,679,809
(2) 未収金及び未収収益	682,678
(3) 貸倒引当金()	696
(4) 貯蔵品	6,650
3 繰延資産	-
負債合計	3,230,004
1 固定負債	2,178,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,070,198
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	405,000
(5) 引当金	702,909
(6) リース債務	-
2 流動負債	815,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	340,607
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	20,000
(5) 引当金	192,569
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	261,571
(9) 前受金及び前受収益	1,000
3 繰延収益	236,150
(1) 長期前受金	4,269,444
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,033,294
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,613,415
1 本金	168,333
2 剰余金	1,445,082
(1) 資本剰余金	1,085,633
(2) 利益剰余金	359,449
負債・資本合計	4,843,419
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,203	327,203
資本勘定繰入	228,101	228,101
計	555,304	555,304

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)		都道府県名	
		三重県	
市町村・組合名	大台町		
病院名	報徳病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,668	
決算規模(千円)	8,639,198	
標準財政規模(千円)	4,956,072	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	2.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	425			
1 経常収益	425			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	425			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	425			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	425			
2 経常費用	425			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	89.5
材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
減価償却費	-	-	8.5	14.0
経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	425			
(うち支払利息)	425	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255	425
資本勘定繰入	5,386	8,776
計	5,641	9,201

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名		玉城町			
病院名		国保玉城病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,964 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	50	94.7	95.5	97.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	94.7	95.5	97.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	15,041	
決算規模(千円)	7,265,627	
標準財政規模(千円)	4,504,558	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	80.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	24.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	984,176			
1 経常収益	808,419			
(1) 医業収益	677,624			
(うち修正医業収益)	671,054			
入院収益	451,110			
外来収益	147,231			
診療収入計	598,341			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	79,283			
(うち他会計負担金)	6,570			
(2) 医業外収益	130,795			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	97,060			
(うち長期前受金戻入)	30,017			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	175,757			
(うち他会計繰入金)	8,000			
総費用	788,055			
2 経常費用	780,055			
(1) 医業費用	747,727			
職員給与費	436,251	64.4	58.7	78.7
材料費	63,584	9.4	26.9	14.5
(うち薬品費)	25,074	3.7	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,494	3.8	11.7	6.1
減価償却費	51,424	7.6	8.5	11.8
経費	195,991	28.9	21.5	32.3
(うち委託料)	144,322	21.3	11.5	15.3
研究研修費	477			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	32,328			
(うち支払利息)	8,561	1.3	0.9	1.1
(3) 特別損失	8,000			
経常損益	28,364			
純損益	196,121			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.6		96.5	96.4
医業収支比率	90.6		86.0	72.4
修正医業収支比率	89.7		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	11.3		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	90.4		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,648,110
1 固定資産	734,899
(1) 有形固定資産	713,774
(2) 無形固定資産	676
(3) 投資その他の資産	20,449
2 流動資産	912,699
(1) 現金及び預金	806,787
(2) 未収金及び未収収益	103,491
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,421
3 繰延資産	512
負債合計	766,356
1 固定負債	428,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	402,446
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,107
(6) リース債務	-
2 流動負債	158,720
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	63,053
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,864
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	70,125
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	179,083
(1) 長期前受金	470,792
(2) 長期前受金収益化累計額()	291,709
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	881,754
1 資本金	15,863
2 剰余金	865,891
(1) 資本剰余金	410,983
(2) 利益剰余金	454,908
負債・資本合計	1,648,110
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	96,064	111,630
資本勘定繰入	34,180	34,796
計	130,244	146,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	南伊勢町				
病院名	町立南伊勢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,375 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	50	72.3	77.2	82.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	72.3	77.2	82.1
平均在院日数(一般病床のみ)		25.3	26.6	24.0

設立団体の状況		
人口(人)	10,989	
決算規模(千円)	10,743,115	
標準財政規模(千円)	6,164,106	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	55.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,073,168			
1 経常収益	1,073,121			
(1) 医業収益	828,462			
(うち修正医業収益)	758,462			
入院収益	381,220			
外来収益	321,781			
診療収入計	703,001			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	125,461			
(うち他会計負担金)	70,000			
(2) 医業外収益	244,659			
(うち国・都道府県補助金)	30,873			
(うち他会計補助・負担金)	175,539			
(うち長期前受金戻入)	1,998			
(うち資本費繰入収益)	32,211			
(3) 特別利益	47			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,036,873			
2 経常費用	1,025,207			
(1) 医業費用	1,003,855			
職員給与費	627,984	75.8	58.7	78.7
材料費	79,688	9.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	60,301	7.3	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,387	2.3	11.7	6.1
減価償却費	78,750	9.5	8.5	11.8
経費	216,538	26.1	21.5	32.3
(うち委託料)	128,469	15.5	11.5	15.3
研究研修費	895			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	21,352			
(うち支払利息)	4,311	0.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	11,666			
損益	47,914			
純損益	36,295			
累積欠損金	181,473			
経常収支比率	104.7		96.5	96.4
医業収支比率	82.5		86.0	72.4
修正医業収支比率	75.6		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.9		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	29.6		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	22.9		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	80.7		85.4	73.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,390,396
1 固定資産	1,948,968
(1) 有形固定資産	1,948,968
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	441,428
(1) 現金及び預金	319,728
(2) 未収金及び未収収益	116,281
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,419
3 繰延資産	-
負債合計	2,507,400
1 固定負債	2,182,165
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,182,165
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	215,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	94,417
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,075
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,756
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	109,426
(1) 長期前受金	139,098
(2) 長期前受金収益化累計額()	29,672
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-117,004
1 資本金	9,110
2 剰余金	-126,114
(1) 資本剰余金	55,359
(2) 利益剰余金	-181,473
負債・資本合計	2,390,396
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	117,004
資本不足額(繰延収益控除後)()	7,578
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	275,539	245,539
資本勘定繰入	37,511	43,891
計	313,050	289,430

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				三重県	
市町村・組合名	紀南病院組合				
病院名	紀南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,675 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	200	60.0	57.4	58.0
療養	40	61.4	66.8	69.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	16.7	21.4	19.6
計	244	59.5	58.4	59.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	14.6	12.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,581,191			
1 経常収益	4,580,813			
(1) 医業収益	3,398,340			
(うち修正医業収益)	3,310,397			
入院収益	2,233,305			
外来収益	984,933			
診療収入計	3,218,238			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	180,102			
(うち他会計負担金)	87,943			
(2) 医業外収益	1,182,473			
(うち国・都道府県補助金)	234,487			
(うち他会計補助・負担金)	115,913			
(うち長期前受金戻入)	194,446			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	378			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,008,725			
2 経常費用	5,008,556			
(1) 医業費用	4,226,295			
職員給与費	2,430,486	71.5	58.7	63.9
材料費	656,061	19.3	26.9	21.1
(うち薬品費)	340,001	10.0	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	303,376	8.9	11.7	10.2
減価償却費	323,030	9.5	8.5	9.3
経費	801,785	23.6	21.5	28.2
(うち委託料)	358,516	10.5	11.5	14.0
研究研修費	9,526			
資産減耗費	5,407			
(2) 医業外費用	782,261			
(うち支払利息)	26,271	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	169			
経常損益	-427,743			
純損益	-427,534			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.5		96.5	93.2
医業収支比率	80.4		86.0	81.2
修正医業収支比率	78.3		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	4.5		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	4.4		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	87.4		85.4	80.9

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,583,509
1 固定資産	5,561,758
(1) 有形固定資産	5,340,690
(2) 無形固定資産	1,495
(3) 投資その他の資産	219,573
2 流動資産	3,021,751
(1) 現金及び預金	2,309,779
(2) 未収金及び未収収益	709,202
(3) 貸倒引当金()	8,491
(4) 貯蔵品	11,261
3 繰延資産	-
負債合計	5,170,911
1 固定負債	2,600,909
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,548,533
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	2,376
2 流動負債	940,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	383,013
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	187,765
(6) リース債務	1,901
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	340,696
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,629,126
(1) 長期前受金	5,532,386
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,903,260
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,412,598
1 本金	906,776
2 剰余金	2,505,822
(1) 資本剰余金	144,260
(2) 利益剰余金	2,361,562
負債・資本合計	8,583,509
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	378,548	203,856
資本勘定繰入	192,332	186,361
計	570,880	390,217

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。